

若おゆ



R 4 . 3 . 1 6
No. 18

男20名女22名計42名

学校教育目標「夢いっぱい 笑顔いっぱい 元気あふれる横田っ子」

修了、卒業おめでとーございませー!



3学期もコロナウイルス感染症予防対策として、授業参観、学校運営協議会等が中止になりました。なわとび大会の保護者参観も、卒業式の来賓参加もありませんでした。子どもたちの一生懸命取り組む姿を皆様にご覧いただきたかった気持ちでいっぱいです。1年をふり返ってみても、予定通り学習活動が進められないことが多々ありました。しかし、地域の皆様、保護者の皆様のご理解ご協力をいただき、子どもたちは全員そろって元気に、修了式、卒業式を迎えられそうです。1年間の子どもたちの成長には、目をみはるものがあります。

今年度1年間、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。令和4年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

6年生を送る会 大成功!



新執行部が会の企画、進行をつとめました。

1年生は招待状。2年生、3年生は似顔絵作成と体育館側面の飾り付け。4年生、5年生はステージの飾り付けとプレゼント担当で頑張りました。

6年生は今年1年間、最高学年・全校のリーダーとして頑張ってくれました。2月25日(金)、6年生へ感謝の気持ちを伝えようと6年生を送る会が行われました。

心をこめて「ありがとうの花」を歌いました。手にもった花が一体感を感じさせました。

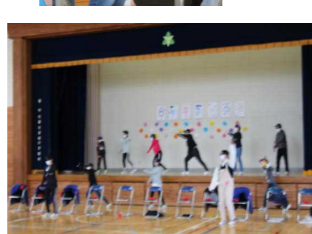
「6年生のだれでしょう？」クイズ。新執行部が問題やヒントを準備してくれました。次々に手が上がります。



感謝の言葉を書いたメッセージカードをプレゼント



6年生は、劇とダンスを披露してくれました。劇には、地域コーディネーターの白川さんも登場。



ありがとう! 6年生!!

6年生ありがとう!

6年生が卒業プロジェクトの一つとして、感謝プロジェクトを実施しました。奉仕活動や他学年との遊びの企画です。特別教室や廊下の清掃、整理整頓に取り組む学校がみんなにとって使いやすく、更にきれいな学校になりました。



昼の放送では、下級生から6年生へ感謝の言葉がたくさん伝えられていました。6年生、ありがとう!

1年間頑張りました 漢字・計算レース

2月18日(金)に漢字レース、2月25日に算数レースが行われました。今年度、最後のレースになりました。全校で目標に向かって、集中して取り組む学習です。校舎内に鉛筆の音だけが響きます。お家の方々も応援ありがとうございました。努力の過程を是非、ほめていただきたいと思います。



なぜ、勉強するのかな?なぜ、学校に行くのかな?



- 3月1日(火)の全校朝会について子どもたちの感想です。
- きょう、ぜんこうちょうかいの校長先生の話をきいて、なぜ、学校に行くのかがわかってよかったと思います。 2年 かの みことさん
- ぼくも、中学校、高校、大学に行くために勉強をがんばりたいと思いました。 3年 杉山 啓祐さん
- ぼくは、校長先生の話を聞いて、人生にはいろいろな分かれ道があるんだなあと思いました。だけどいっぱい勉強して自分の夢に向かえばいいと思いました。 3年 佐藤 倫人さん
- 今までなぜ勉強するかを知らなかったけど、知ることができた。今日の校長先生が4回もテストをうけたと聞いて、人生そんなに甘くないことを知った。そして、基礎である小学生の問題をしっかりと解いて、中学、高校に備えて勉強したいと思います。これからもがんばりたいです。 5年 菅野 一稀さん
- わたしは、校長先生の話を聞いて、なぜ1年生から勉強しているのかがわかりました。わたしも苦手なところは復習して、苦手なところがないようがんばりたいです。そして、中学校の勉強はむずかしいところがたくさんあるけど、問題をよく読んでときたいです。 6年 渡邊 可梨さん
- ぼくは、プロ野球選手になりたいです。だから、プロに一步でも近づくために大学までいくか迷っています。そろそろ答えを出したいです。 6年 斎藤 聖那さん
- わたしは、調理師になりたいという夢があります。みんなを笑顔に元気にできる料理を作りたいと思っています。たくさん学習して、中学校でつまづかないようにしたいです。将来のためにもがんばりたいです。 6年 紺野 碧月さん
- これからのテストに合格できるように、今のうちに小学校で習った基礎を覚えていきたいです。自分の将来の夢のためにも、たくさん勉強して、大学へ行き、仕事でお金をもらえるようになったら、親や家のためにお金を使いたいです。中学生になってもがんばりたいです。 6年 菅野 有玖さん

3.11集会



子どもたちの「夢の実現」応援します!



東日本大震災から11年が経過しました。今年度の3.11集会は、横田小学校の卒業生 遠藤 恵太さん(5区)にお話を伺いました。震災当時3年生だったときのことや震災をきっかけに、現在看護師を目指し勉強していることなどお話しして下さいました。子どもたちは、防災意識を高めるとともに夢に向かってがんばることの大切さを学びました。

被災地オテガミプロジェクト 久保田洋一さん(長野県)が送って下さいました。陸前高田市の復興を願い、長野市立鍋屋田小学校の高学年が児童会の取り組みとして書いてくれたメッセージカードです。久保田洋一さんと佐々木美代子さん(8区)のご縁から横田小学校に届きました。ありがとうございました。

